

伊吹山の野生動物

～ツキノワグマとイヌワシ～

ツキノワグマは植物を主要な食物としながらも、チャンスがあれば肉食もする。彼らは豊かな森に暮らす「自然環境の豊かさの指標種」である。

僕自身が撮影したDVD「ツキノワグマ」を観ながら彼らの生活を紹介します。

初冬には雪の上に足跡を残し、積雪が増えるギリギリまで冬眠せずに過ごしている。早春に冬眠から目覚め、少しずつ芽吹き始めた植物を食べ、冬の間死んだ動物の死体を見つけて食べる。野生動物たちの子育ての時期である初夏には、シカやカモシカの子どもなど生まれて間もない動物を捕食する。昆虫やトカゲなどの小動物を食べることも多い。秋には豊かな森に産する木の実を大量に食べて冬眠に備えて脂肪を蓄積する。ツキノワグマとともに暮らす野生動物、特に全国の生息分布がクマと一致するイヌワシの生活を中心に紹介し、伊吹山の野生動物と人の共存についても考える。

講師

イーグレット・オフィス 須藤 一成

プロフィール

イーグレット・オフィス代表 動物写真家

大空を悠々と飛翔するイヌワシに魅せられ、猛禽類の魅力をとおして自然の素晴らしさを伝えるべく、滋賀県を拠点に撮影活動を続けている。また、多種多様な猛禽類が生息するアフリカの撮影にも取り組んでいる。

主な著作 「Golden Eagle イヌワシ」(平凡社)、共著「伊吹山自然観察ガイド」、DVD「ブラックイーグル」「ツキノワグマ」など

場所

滋賀県立琵琶湖博物館 セミナー室

参加費

無料

共催

滋賀県立琵琶湖博物館

お問合せ先

公益社団法人滋賀県獣医師会

TEL: 077-526-1966

2/16日
令和7年
14:00～16:00